

佐用高等学校
同窓会報

塔 陵

発行所
兵庫県佐用郡佐用町佐用260

兵庫県立

佐用高等学校同窓会

電話 0790 (82) 2434(代)

FAX 0790 (82) 2719

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~sayo-hs/>

印刷所
谷本弘輝堂

平成二十六年四月入学生から
制服が新しくなります。



「佐用高校の明日は…」



同窓会長 谷本 学

高校二十一回生（昭和四十四年卒）

佐用町の町木「大いちょう」を訪ねて来られ、落ち葉の黄色い絨毯を踏みしめながら、写真に収められる人が今年の秋は特に多い様な気がします。同窓生の皆様には、それぞれお元気にて活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、皆さんは何を使って、また何を利用して佐用高校まで通っていますか？

兵庫県の西・北部に位置する本校への通学手段は徒歩、自転車はもちろんのこと、JR姫新線に加えて、今では智頭急行が走っているのも、通学がより便利になり、遠くから多くの学生が佐用高校に通っています。

さすがに「二十数キロの道を自転車・・・」とはいきませんが、時間的には1時間以上をかけて通学している生徒も見うけます。

かつて佐用農蚕学校と呼んでいた頃は、岡山県の旧大原町や東・西粟倉村からも多くの生徒が通学し、勉学に勤しんでいたとも聞いたことがあります。そして昭和の40年頃までは通学も可能であったようですが、現在は通学出来ません。

少子化の影響もあり、定員割れも心配される中で、果たしてこのまま何もせずにいて、母校「佐用高校」は存続できていくのでしょうか？不安になってしまいます。

兵庫県では平成27年度から学区の再編が行われ、現在16学区が5学区になるということが決定しています。学区の再編によるメリット、デメリットはそれぞれあるようですが大きな変革が求められている今だからこそ、母校の明日を真剣に考えていかなければと、思いを強くしています。

聞くところによると、岡山県の大原や粟倉では近くに高校がないので、一部の生徒は遠く津山市まで通われています。「できれば佐用高校に通いたい」と言った声も聞きます。ただ今は県境をまたいで通学するのは、県立高校では難しいとのことですが、他の府県ではどうかのか、検討してみるのは必要はあるのではと、思いを巡らせているこの頃です。同窓生の皆様にも、是非お知恵を拝借したいものです。

寒さも厳しくなってきましたが、お身体に十分気をつけられ、新しい年をお迎えになれますようお祈りいたします。

日に焼けたリーダーを 育成するために



校長

奥平 賢一郎

同窓会会員の皆様、平素は本校教育にご理解、ご協力、ご尽力賜わりまして心より感謝申し上げます。

司馬遼太郎の『坂の上の雲』には、明治という時代に、我が国が西欧列強の狭間にあって近代国家としての礎をいかに築いていったかが描かれています。この小説は、伊予松山の秋山兄弟、正岡子規の視線で描かれています。一番のクライマックスは、明治維新から四十年足らずで近代化を成し遂げ、

列強の一角、当時世界屈指の海軍を有していたロシアのバルチック艦隊を打ち破るところにあります。東郷平八郎が対馬沖でバルチック艦隊を撃破したのが、明治三十八年五月のことでした。その興奮もさめやらぬ翌明治三十九年四月佐用郡立蚕糸伝習所ができ、後の佐用農蚕学校の濫觴となりました。

先進国家の仲間入りを果たし、あらゆる分野で「近代」が勃興するなかで、農業教育の分野でも新しい発想の農業

教育システムがスタートすることとなりました。佐用郡立農蚕学校の設立の主旨の冒頭で「我が国家の基をなし、富強の礎を作る者は農民なり。」と宣言し、農蚕の知識を持ち、学んだことを応用でき、心身を鍛錬し、進歩的な優れた農業者を育成することを唱めています。それは封建的な地主制から脱却した新しい農業の曙光を予告しているのです。

本校応接室に掲げてある元京都大学総長で成城学園の創始者澤柳政太郎先生の校訓額（大正十二年）にも「忠実 勤勉 節儉 信義 進取」と記してあり、従来の徳目「忠実 勤勉 節儉 信義」に加えて「進取」があります。「進取」とは、進んで物事に取り組んでいく積極性や意欲ある姿勢をさす言葉です。当時、近代化したばかりの当時の国民の思いが強く反映された言葉のように感じます。

混迷する時代であるからこそ、本校

創設の精神は見直されなければなりません。佐用高校百年を貫く伝統は、しっかりとアイデンティティを持ち、進取の気概を持ち、まさに精神的にも肉体的にもタフなリーダーたる人材を育成する一筋の流れです。同窓生の方々が、さまざまな分野で活躍されていることを見ても、その成果は歴然としています。今後、この伝統を受け継ぎ、さらに発展すべく、尽力して参りたいと思います。

疾風勁草の言葉もありますように、これからの世界を生きる生徒たちは、私たち大人が経験しなかったような多くの課題に直面することになります。明治維新や第二次大戦の敗戦など、大きく価値観が変わった時代と同様に、グローバル化することによって日々の生活が大きく影響される世の中になるといわれているからです。本校では、時代の変化に耐えうる人材を育成したいと思います。

本年度は「明るくいいき夢を育む佐用高校」のスローガンのもと、

一 「日に焼けたリーダー」の育成
二 地域のキーステーションとしての学校づくり

三 専門学科と普通科の教育内容の更なる充実と進路実現
を掲げています。

今、生徒たちには「日に焼けたリー

ダーになる」と呼びかけています。佐用高校生としてのアイデンティティを持ち、進取の気概を持ち、精神的にも肉体的にもタフなリーダーたる人になつていただきたいの思いです。具体的には、

一 文武両道の推奨（勉学と部活動、学校行事との両立）
二 地域との連携した取組の推進（専門学科教育の充実、インターンシップの推進）

三 防災教育とグローバル教育の推進（新たな防災教育の構築と海外研修推進）

等とおして、育成していききたいと思います。

また、平成二十六年より年次進行で制服を改定していきます。十七年間続いたグリーン系からスクールカラーの臙脂（えんじ）を基調にした制服になります。この制服は郡内中学生にアンケートを採り、その結果で決定しました。まさに自分たちが選んだ制服であり、今後長く愛着を持って着てくれることと思います。

同窓会の皆様には、今後いっそう学校の情報を発信、広報に努めて参りますので、これまで以上のご意見ご支援賜わりますとともに、忌憚なくご鞭撻賜わりますことをお願いしたいと思います。

特 志 寄 稿

「たくさんの言葉」

陶芸家 野村 直 城

高校四十九回生 (平成九年卒)

佐用高校での学生生活を思い出すと楽しいことで溢れていて、何時も笑っていたように思います。

それらの思い出は、教室の風景や匂い、そして同じ時間を過ごした先生方や仲間たちの笑顔とともに蘇ってきます。

私は生徒会、吹奏楽部、科学部と三つの活動に参加していたため、多くの方と関わる機会がありました。

授業で学んだことも沢山ありますが、人との出会いから得たことが私の心を豊かにしてくれたように思います。

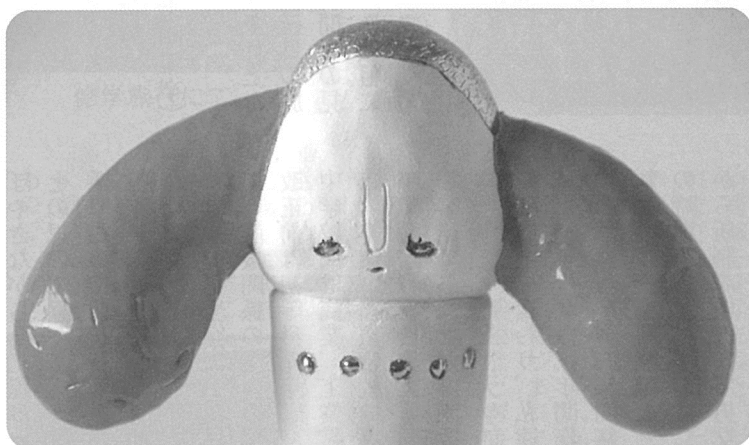
先生、友達の一人ひとりにそれぞれの魅力があり、沢山の話をする中で様々なことに関心が広がっていき、進路を決定していく手掛りにもなりました。

高校での出会いがなかったら、何処で何をしていただろうと考えることもありません。そう考えると、高校での三年間は重要な期間だったと改めて感じています。

そしてこれからも高校時代にいただいた沢山の言葉と笑顔に支えられていることを感じながら過ごしていきたいと思っています。

そして大学へ進学し、大学院修了後に佐用へ戻ってきてからも講師として佐用高校に行くことになりました。

高校との関わりは在学中の三年間だけで終わってしまいましたが、卒業後もいままじろな私たちでお世話になつていきます。



佐用高校ファッションショー!



農蚕から高校の思い出

野村 恵 康

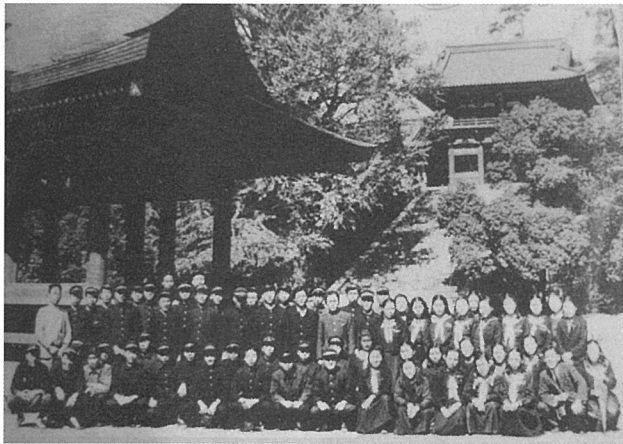
農蚕男子部三十八回生（昭和二十四年卒）

私達は昭和二十一年終戦の翌年、男子部三クラス約百五十名の入学で、私達一年先輩から三クラスとなり、入学当時は制服等はなく、頭は丸刈りで戦闘帽に国民服、脚にはゲートル（巻脚絆）を巻いた戦時色そのままの姿で入学した時代でした。戦後の外地からの復員と引揚者の数が七百万人以上とも言われ、日本の人口は急激に増加し、食糧難の到来となり主食の米、麦はもとより日常の衣料品に至るまで不足し、我々農家にあっても一日三食の内、最低一食は代用食かお粥又はどうすいで我慢する毎日でした。

学校では、全日実習の名のもとに終日農作業、一週六日の内、火・木曜日は全日、月・水・金は昼から二時間実習と言う時間割で、その内容は例をあげれば、西山の開墾地でのさつま芋作り、現在のグラウンド周辺一带は今言う棚田で田植えから除草、稲刈りに至るまですべて手作業での仕事であり、今思い出しても大変つらく苦しい思い出が多く残っています。

つらくて苦しい事ばかりではありません。二十三年十月に、永い間禁止になっていた修学旅行が急に解禁となり、戦後初めての旅行が決まったのは良いが積立金もなく、費用は九、十月で分

納し、白米二升は当日持参が条件となり、大阪、京都、奈良の二泊三日の旅で大阪は電気科学館と朝日新聞社の見学後、復興途上の戦災の傷跡を横目に見ながらいづれも歩いて難波まで、電



車でやつと京都市、旅館で米一升を渡し、翌朝六時起床で東西本願寺を振出しに三十三間堂から東山一带の観光、昼すぎに八坂神社このあたりで昼食かと思いきや、そこから平安神宮から御所まで残りの米一升が急に重く感じ、腹はへるやら足は痛いは、皆ブツブツ

ばやきながら全工程歩いた旅、やつとの思い出で昼弁当、次はバス、電車と乗り継いで二日目は奈良での一泊。翌日奈良公園他の見学と想い出多き旅となりました。

戦後の改革の中でも当時の私達にとつて、直接関係の深いのが学制改革で、改正前は初等科六年、卒業後希望者は中学校又は商業、工業学校に進学、五年で卒業、農蚕学校の場合は高等科二年で義務教育を終え、同じく進学三年で卒業であったが学制改革により、小六、中三、高三、大学四年と六三三四の新制度に変わり、私達同期と一年先輩と一年後輩は三年間修業し、卒業の場合は農蚕卒、四年間修業し卒業で、新制高校農業科卒業とどちらかを選択の時期でした。従って二十四年の四月から新制高校として男女共学の始まり

佐用（さよ）高校に われらあり！

野村 智 範

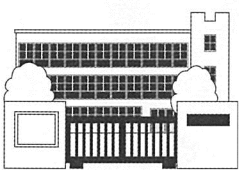
高校二十七回生（昭和五十年卒）

佐用高校の先生方と話す機会に、いつも感心していることがある。転入されて間もない若い先生方でさえ、「佐用（さよ）高校」と母校のことを呼んで下さることである。そのたびに、ひそかに嬉しい気持ちになるのである。そう、「佐用高校」は、「さよう高校」ではなく、「さよ高校」なのである。現在の町名、「佐用（さよう）町」

です。その間に二十三年の十一月に佐用高等学校昇格記念文化祭と銘うって、二日間にあたる記念行事が行われた事は今でも記憶に残っています。

更に忘れてはならないのが新制高校となり、シンボルとなる校章の制定で、全生徒より募集の結果、私達の同期で福沢の福田三好君の作が入選となり、福田君の原画を基に繁延先生の手直しにより現在の校章が制定されたものです。

何しろ七十年近くも前の事、記憶をたどつての思いつくままに書きましたが、間違っている点もあろうかと思いますが、お許し願ひ、皆様方の学生時代と重ね合せてご批評いただければ幸いです。



について言えば、昭和三十年に「佐用（さよ）町」「平福町」「長谷村」「江川村」「石井村」が合併して旧佐用町が

成立し、それまでは「佐用(さよ)町」であつたものが、「佐用(さよ)町」と変わつて以来、平成の合併後もそのまま引き継いで使われているのである。今さら町名の呼称云々を言うつもりはないが、せめて「佐用高校」だけでも「佐用(さよ)高校」と意識して呼称し続けてほしいと願う。

そもそも、「さよ」の地名の由来については、遠く奈良時代に編纂された「播磨国風土記」(はりまのくにふどき)に、「五月夜(さよ)」「讃容郡(さよのこおり)」などと記されており、元は「佐用(さよ)」であつたことも、是非伝えていきたい。

英語との出会い、 現在(いま)の私

西崎 善久

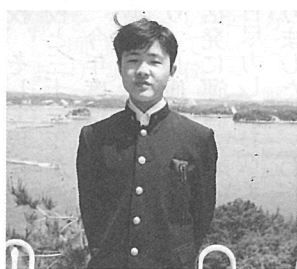
高校三十回生(昭和五十三年卒)

佐用高校を卒業し、早三十六年が経とうとしています。私が佐用高校に入学した頃は現在の校舎が建つ前で、確か高校指定の革靴を履いて登下校し、校舎内は油引きをした木製の床であつたように記憶しています。また、机と椅子が一体化した古いタイプで重いため、清掃時には大変な思いで机を移動したことも覚えています。

中学時代にソフトテニス部に所属し、運よく県大会に出場したこともあつて、迷わず高校でも同部の扉を叩きました。が、入部してみるとペアに恵まれず、

十月三十日には、「佐用姫(さよひめ)さん」の祭りだし、「佐用坂」は「さよざか」、「佐用川」は「さよがわ」、「佐用駅」は「さよえき」である。車内放送は、「次は、さよ、さよ」ときちんとアナウンスするし、駅名の表記も「さよ」である。最近架けられた橋の欄干に、「佐用川」を「さようがわ」と刻みであるのを見つけて、残念に思つたばかりである。くだいようだが、これからも佐用高校が「さよ高校」と呼ばれ続けることを願つてやまない。校歌の一節、「佐用高校にわれらあり」は、決して「さよう高校にわれらあり」ではないのである。

結局は三ヶ月ほどで退部し、その後すぐに以前から興味のあつたESS部に入部しました。顧問は当時、英語Rを教わつていた林幹夫先生(現在は岡山白稜高等学校勤務)で、男子生徒は私一人、残り女子生徒四、五名の小さな部でしたが、夏休みには短期留



修学旅行にて



初任の家島高校を離任する直前
真浦港にて

学生を招いて口語英語に勤しむ画期的な部活動に参加することで、ますます英語の楽しさを学びました。

英語との初めての出会い
は、小学校六年生のときでした。

佐用町内の父の実家へお盆休みに帰省したときのこと。当時、ビートルズが解散前に発売した「レット・イット・ビー」のSP盤を従姉妹がかけてくれたとき、私は物凄い衝撃を受けました。というのも、それまでの歌と言えば、ヒデとロザンナやピンキーとキラーズといった歌謡曲しか耳にしていなかったもので、当時世界を席巻していた英語の曲に数秒でノックアウトされてしまいました。その頃小学校では英語など習うはずもなく、「聴きよう聴きまね」(?)で必死になつて何度も歌詞を聴き取るのに、カタカナで聴いた音をノートに書きためては、完成した歌を覚えた曲調に合わせて風呂の中でジョンやポールよろしく歌っていたものでした。



全国英語弁論大会

ただ、意味も分からず、発音も滅茶苦茶でした。

中学校に上がると、同級生にもビートルズマニアが数名おり、当時NHKのFMラジオで年末年始の「ビートルズ特集」が放送されていたので、無け無しのお金をはたいてはカセットテープをまとめ買いし、エアチェック(録音)し、互いに知らないアルバムを交換しては、真夜中まで聴き入ったものでした。

このようにして、中学では「歌を使った音声活動を通して、英語を耳や口から楽しんで身につける」自己流の土台が出来上がり、高校に入ってから、恩師である林幹夫先生(英語R)、数本章吾先生(英語G)を初めとする諸先生方に強い影響を受け、「英語の読み書きを中心とした文法・語法を基礎から学んだ」ことにより、ここで英語に対する興味・関心が初めて知識・運用能力と融合し、「将来は英語を生かして、その楽しさを生徒に伝えていくことで高等学校で授かったご恩に報えたなら」という思いがふつふつと沸いてきました。

大学は関西の私大に悉く嫌われ、遠く北九州の地で四年間を過しましたが、そこでも佳き師、佳き友に恵まれ、ESS部に入部し、スピーチ部門で全国



姫路東高校 ハロウィーンパーティー

大会に出場する機会を得、卒業後は兵庫県教員採用試験も高倍率ではありましたが、運よく現役合格できました。とくに、二次試験では当時の指導主任であった三木英一先生（元姫路東高等学校長）から、英語で質問を受けても動じることがなかったのも、今思えば、ひとえに佐用高校で過ごした三年間、そして大学四年間の賜物だと誇りに思っております。

教員生活も家島高等学校を皮切りに、姫路飾西高等学校、姫路東高等学校、明石南高等学校、トレノ又甲南学園、

人生の出会いには宝

木戸口 敏 幸

高校三十四回生（昭和五十七年卒）

佐用高等学校の皆様方には恙無くお過ごしのことと思います。

最近の時候は過去に例を見ない、あるいは何十年に一度という災禍をも伴って四季折々の順気程遠い。記録的な猛暑に見舞われた今年の夏。高知県四万十市では国内観測史上最高の四一度を記録するなど、全国各地で最高気温の記録が更新されました。

さて、唐突ですが、人生とは？の問いに皆さんは、どう答えられるでしょうか？介護の現場で生活支援員として働かせてもらっている私として、また人の人生に関わる者として心に準備しておくことがあります。それは、「人生とは」という問いに、「人生とは、一切選ぶことが出来ない選ぶことが出

福崎高等学校、そして現在勤務中の明石西高等学校と三十二年が過ぎようとしています。今年度は兵庫県高等学校教育研究会英語部会の事務局長という大役を授かり、兵庫県高等学校の英語教育活動が活発に運営されるよう、微力ながら毎日尽力しております。

最後になりましたが、わが母校である佐用高等学校がこれからも、「明るくいきいき夢を育む」学校であり続けますよう、卒業生の一人として心より応援しております。

来ない選べない世界と、選びに選びぬける世界。たった二つの世界で織りなされている。何人たりともこの二つの世界から離れて生きられないのが私達の「一生です」選べない世界とは、どの親から、いつ、どんな身体を持って生まれてくるのか。出会い、諸条件は一切分らないですね。私はこの世に生まれ半世紀、高校卒業して三十数年。今までの人生の出会いの中で、良かったと思う出会いは、妻、内科医M氏、外科医H氏、臨床心理士H氏、教会長夫妻T氏、プロドラマーY氏、プロトランベッターE氏、シンガーソングライターI氏、など、それぞれプロとして活躍されています。

妻は生涯のパートナーとして、彼女

と出会っていなかったら今の私はありません。ある日妻が、さりげなく渡してくれた一枚のチラシ（ホームヘルパー二級受講生募集）によって、この道へ進むきっかけとなりました。私の就職は町内久崎にあります。社会福祉法人はなさきむらの事業所の一つである、生活介護事業所「なのはな」という重度の障害をもっておられる方の通所施設で生活支援員として、日々試行錯誤しながら七人の支援員と共に頑張っております。

どのような障害があろうとも、人々は互いに助け合い、補い合うという温もりのある支え合いの中に生まれる絆を育て確かめ合い支えることが大切だと思います。

その為には、「共感力」がキーワードになります。それは、相手の考えや立場を理解しようと努める「共感する力」であり、相手の思いを汲んだうえで自分の考えを理解してもらおうとする

復興への思い

神港学園神港高等学校教諭 同陸上部監督

谷 口 朗 典

高校三十八回生（昭和六十一年卒）

十一月十七日（日）感謝と友情をテーマに掲げた第三回神戸マラソンが開催されました。その根底にあるものは、阪神・淡路大震災からの復興、そして現在にいたるまでの「手を差し伸べていただいた国内外の人々や地域へ感謝の気持ち」を表明する大会にしたいと

る「共感させる力」でもある。いずれも、相手の立場に立つて物言を考へることが円満な人間関係の構築に欠かせないものでもあります。そんな中、「なのはな」は、地域の方々、ボランティア（喫茶、創作、音楽、本の読み語り、外出、カメラマンなど）の方々を支えて頂きながら成長し、公私共に新しい出会いを宝に人生を歩んでいきます。

近くにお越しの節はお気軽にお立ち寄り下さいませ。（ただし、土日祝は休みです。）



いう想いです。創造的復興を果たした兵庫・神戸の姿や、震災の経験・教訓を世界中の被災者に伝えていくという行動は、すべての人が「仲間」であり、喜びも悲しみも分かち合うという考え方にもとづいています。また、兵庫・神戸を訪れていたいただいた方にとって、

最高のおもてなしに会える大会にしたいという想いも、「仲間」という意識にもついています。自分のためだけでなく、地震や津波や台風などで被災された国内外の人々のためにも走る大会へ。走るだけでなく、兵庫・神戸の魅力も楽しんでもらう大会へ。そんな神戸馬拉ソンの持つチカラをさらに大きなものにして、国内外でたいへんな被害を受けている人々や地域へ「エールをおくる」馬拉ソンにしたいと考えられました。

神戸馬拉ソンでゴールした選手の中に「がんばろう！佐用町」のTシャツを着て完走した一人のランナーがいました。四年前の豪雨から立ち直りつつある姿と同じコンセプトを掲げた神戸馬拉ソンの場を借り、感謝の気持ちや元気な姿を周りの人たちに伝えてくれました。豪雨以降、兵庫県では河川情報をより詳しく、早く伝えるために固定カメラを設置するなど、その教訓も活かされています。元気な姿は他でも見ることができました。先日行われた兵庫県高等学校駅伝競走大会、出場回数四十八回は県下で四位という常連校、過去には総合四位という成績を何度も残しています。今年もグリーンのユニホームが篠山路を駆け抜けました。「佐用がんばれ、もつと前を狙え」という声援や激励が沿道から飛んできました。走ることを通して、周りに勇気を与え、活力に変える。私も後輩達に元気と勇気もらいました。新聞での結果だけでなく、来年も篠山路での走りを見に行くことにしましょうか。

在校生だより

ジュニアリーダー育成合宿に参加して

一年六組 高見 皓平

僕は、今年の七月に「中学生・高校生防災ジュニアリーダー育成合宿」という合宿に参加しました。合宿の内容は、主に災害の対策などに積極的に取り組み、先導する防災ジュニアリーダーになるための勉強やボランティアの知識と心得を、専門の先生に時に厳しく時に面白く指導していただきました。

僕がなぜこの合宿に参加したのかと言うと、先生に勧めていただいたからです。最初は少し不安などもありましたが、夏休みに入ったばかりの時期の合宿だったので面倒くさい気持ちもありました。しかし、そんな感情もすぐに無くなってしまうました。なぜかと言うと合宿が始まってすぐに、東日本大震災のボランティアに参加した舞子高校の生徒の方に、震災の被害や被災地の現状の話をしていただいたからです。その話を聞いて僕は、「防災の大切さ」を実感しました。それと同時に、自分がこの合宿で防災についてしっかりと学び、それを周りの人々へ伝えないといけないと感じました。この二泊三日の合宿は、とてもたくさんの事を教え

ていただきました。その中で一番自分が大切だと感じたのは、講義などはもちろんですが、「人とのつながり」でした。この合宿には、たくさんの方の中学生・高校生が来ていました。僕は人見知りで、あまり話しかけることができませんでした。しかし、いざ災害が起こった時に、「人見知り」と言っていることはできません。日頃から人とのつながりを育むことも大切かもしれません。見知らぬ人でも自分からコミュニケーションを取って、すぐに人とのつながりを作ることの必要性を強く感じました。

このように、自分の悪い所に気づけたという点でも、この合宿に参加して良かったと思います。このような企画を作っていた方々に感謝するとともに、みなさんにも積極的に周りの行事に参加してもらいたいです。



書道パフォーマンスの魅力

二年二組 蔭山 希望

私は書道部に所属しています。普段は、書の古典を練習し、個人の作品制作をしています。地域のイベントがあると、部員みんなで力をあわせて、書道パフォーマンスに取り組んでいます。最近では、十月に光都で行われた西播磨オータムフェスタや十一月のさ

よう町文化祭に参加させていただきました。西播磨オータムフェスタでの書道パフォーマンスは、先輩が引退されてから初めての取り組みでした。

書道パフォーマンスは、言葉選び、曲選びをしてから作品の構成を決めています。言葉選びは、私たちのメッ



セージを伝えるために大切なことなので、決めるのが大変です。今回は、みんなで「愛」のつく熟語を出し合って、私たちを育んでくれた「故郷を大切にする」という気持ちを伝えたいと思い、「愛郷」という言葉を中心に書くことにしました。部員の意見をまとめておられた先輩は、すごいと実感しました。構成を決めたら、それぞれのパートを決めて練習を始めます。初めは、個人練習を重ねて、線を鍛えます。次に、曲にあわせて全員で書きます。パフォーマンスはチームワークが大切なので、大きな紙に書くたびに、全員が椅子や机の上にあがって作品を眺め、全体のバランスを考え直したり、文字の形を見直したりしながら作品を完成させて

いきます。

本番で作品を書き終わると、書道パフォーマンスを企画してくださった方や、見てくださった方が「すごかったよ。」「感動した。ありがとう。」と声をかけてくださいました。「練習、大変だったでしょう。」と声をかけてくださった方もいました。練習は大変ですが、私たちの製作過程や作品を見て、喜んでくださる方がいることはとても嬉しいです。達成感があって、頑張っ

三年間を振り返って

三年二組 廣居 里奈

私は三年間、体育委員をしてきました。ですから体育大会は一番心に残っています。私達三年二組は、二十八人だけの少ないクラスですが行進では皆一人ずつ大きな声を出し、二位になる事ができました。総合でも準優勝する事ができ、私の中でも心に残る体育大会になりました。どんなに人数が少なくても一生懸命すれば良い結果になるという事がわかりました。その中でも私が一番心に残っているのが綱引きです。去年は失格という結果に終わりととても悔しい思いをしました。なので今年はず優勝したいと思っていました。クラスの皆で一致団結をし、円陣を組み気合を入れ、決勝戦まで行くことができました。

てよかった、次も頑張ろうと思います。

たくさんの方が期待してくださっている中で、書道部の中で協力し合うことはもちろん、企画してくださった方、家族、学校の先生方や顧問の先生、高校を卒業されてからも応援してくださっている先輩、たくさんの方の支えや助けがあるからこそ、書道パフォーマンスができているんだと思います。これからも、感謝の気持ちを忘れずに頑張っていこうと思います。

本当に嬉しかったです。去年の事もあったのでいろいろ嬉しくて涙が出てきました。

クラスの団結力が活かされた体育大会になったと思います。三年間、体育委員をしてきて怒られる事もありましたが、その分私自身学ぶ事もあり、今になってはして良かったと思っています。

また、私は家政科でたくさんの事を学んでいます。食物、被服、福祉、保育などを勉強しています。その中でも私は被服がとても苦手でした。ミシンの使い方も分からないまま入学し、毎日授業についていくのに必死でした。

放課後に先生と二人きりで教えてもらったり、被服の得意な友達に教えて

もらいながらやってきました。特に家政科ではファッションショーという行事があり、自分達で服を作り、お客さんに披露します。ミシンの使い方も分からなかった私ですが、ジャケットを作る事ができました。親切に教えてくれた先生や友達に本当に感謝しています。友達の中には着物やウエディングドレスを作っている子もいるので誇りに思います。クラスの皆と協力しあい良いファッションショーができたと思います。こんなに良い経験をさせてくれて感謝しています。私は、佐用高校の家政科に入学して本当に良かったです。



佐用高校塔陵会会則

(第1章 総則)

- 第1条 本会は兵庫県立佐用高等学校塔陵会と称する。
- 第2条 本会は事務所を兵庫県立佐用高等学校内に置き、地区別に支部を置く。
- 第3条 本会は会員相互の親睦向上を図り母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会の目的を達するため下記の事業を行う。
- 1 会報及び会員名簿の発行
 - 2 研究並びに修養に関する会合の開催
 - 3 母校の各種事業の後援
 - 4 会員の慶弔に関すること
 - 5 その他必要と思われる事業

(第2章 会員)

- 第5条 本会々員を下記の4種とする。
- 1 通常会員 佐用郡立佐用農蚕学校卒業生
兵庫県立佐用農蚕学校卒業生
兵庫県立佐用高等学校卒業生
 - 2 準会員 兵庫県立佐用高等学校在校生
 - 3 特別会員 母校の現在職員
 - 4 客員 母校の旧職員並びに学校団体功労者又は篤志者で本会役員会で推薦したもの。

(第3章 役員)

- 第6条 本会に下記の役員を置く。
- 1 会長 1名 会員中より役員会で候補者を選出し総会で選任する。任期2ケ年、但し留任をさまたげない。尚改選期の通常総会が任期満了後に行われる時は、任期満了後といえどもその年度の属する通常総会迄その任務を遂行するものとする。
 - 2 副会長 4名 会員中より会長の推薦により総会において選任する。任期2ケ年但し改選期の通常総会が延引した場合は会長任期の但し書に準ずる。
 - 3 支部長 各支部において選出し、会長はこれを委嘱する。
 - 4 支部委員 各支部において若干名選出する
 - 5 代議委員 毎期卒業生より代表2名選出する。
 - 6 会計 1名 校内委員より会長これを委嘱する。任期1ケ年。
 - 7 書記 1名 校内委員より会長これを委嘱する。
 - 8 顧問 顧問は総会において推薦し、会長これを委嘱する。
 - 9 監事 3名 支部委員、代議委員中より選出し、会長これを委嘱する。
 - 10 校内委員 校内会員中より若干名を選出する。
- 第7条 本会役員の任務は下記のとおりとする。
- 1 会長 本会を代表し、会務を処理する。
 - 2 副会長 会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。
 - 3 支部長 各支部の会務を掌り本部との連絡提携をはかる。
 - 4 支部委員 その支部の会務を掌り支部長との連絡提携をはかる。
 - 5 代議委員 当期の代表として本会運営に参加する。

- 6 校内委員 事業の企画遂行につき協議参与する。
- 7 書記 本会と母校の連絡提携をはかり本会運営を助ける。
- 8 会計 本会の会計を掌る。
- 9 顧問 顧問は会長の諮問に応える。
- 10 監事 本会の会計を監査する。

(第4章 会議)

- 第8条 定時総会は毎年母校において開催する。
総会は出席の多寡に関わらず成立し、議決は出席者の過半数による。
総会における議長は当日出席の会員中より選出する。
- 第9条 役員会は会長これを招集する。
本部役員会は会長、副会長、監事、校内委員を以て構成する。
正副支部長会は正副支部長及び本部役員を以て構成する。
- 第10条 役員会は下記の事項を管掌する。
予算及び決算に関すること、総会及び親睦会・支部大会に関すること、会則の変更
更改造に関すること、その他必要と認められる事項。
- 第11条 本会員は身上住居などに異動を生じたときは直に本部にその旨通知する。

(第5章 会計)

- 第12条 本会の経費は入会金、会費及び特別会費並びに寄附金を以って充てる。
- 第13条 準会員となったとき会費として毎月300円納入するものとする。
2 準会員は本会の入会金として、1,000円納入するものとする。
- 第14条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
なお、総会までは、役員会の承認を得て、暫定的に予算執行出来るものとする。

(第6章 附則)

- 第15条 本会会則の変更改廃は総会の承認を経ることを要する。
- 第16条 本会々則に付帯する細則は役員会においてこれを別に定める。
- 第17条 補則
- 1 昭和56年8月23日（日）総会に於いて一部（6条、8条、12条）改定す。
 - 2 平成3年7月6日（土）総会に於いて一部（6条）改定す。
 - 3 平成9年7月5日（土）総会に於いて一部（12条、17条）改定す。
 - 4 平成10年7月18日（土）総会に於いて一部（13条）改定す。
 - 5 平成22年8月21日（土）総会に於いて一部（4条、8条、12条、13条）改定す。
 - 6 平成24年7月28日（土）総会に於いて一部（1条、6条、7条、8条、9条、14条）改定す。

母校だより

母校の近況

教頭 栗林 孝一

●就職について

本年度も雇用の情勢は厳しい状況である。例年求人を探していた大手の企業が不振で今年は頂けなかったこともあるが、就職支援員が本校に配置されたこともあり、企業開拓の充実に繋がった。本年度は、佐用郡内、西播磨地域、県内の求人数がやや増加したものの、郡内を希望する生徒が少なかった。

学校紹介による就職内定者は十一月十九日現在、六十五名で内定率は85%となっています。一次不調の原因として筆記試験での学力不足、面接試験での不調が2大要素です。

今後の課題としては、基本的な生活習慣の確立、学力の向上、コミュニケーション能力の向上等の指導を強化したいと考えています。

●進学について

夏からAO入試が、十月から推薦入試が実施されています。現在、私立の四年制・短期大学へ十四名の生徒が、専門学校へ四十名超の生徒が合格いたしました。また、近年、入学金や授業料の減免を扱う入試制度に挑戦する生徒も増えつつあり、頼もしく思っております。(人数は校内届け出分。十一月十八日現在)

校内ではこれらの入試に対応して、夏以降、補習や面接練習のみならずさまざまな個別指導などを実施してまいりました。今後続くセンター試験、私立大学一般入試、国公立大学の二次試験に向け、本校生徒は努力を重ね続けています。

平成25年度

佐用高校生の活動状況

1 運動部 (主な戦績)

- 陸上競技部
 - 兵庫県高等学校陸上競技選手権大会 男子 5000m競歩 優勝
 - 久保 巧臣
 - 全国高等学校陸上競技対校選手権大会 近畿地区予選会 男子 5000m競歩
 - 久保 巧臣
 - 兵庫県高等学校コース陸上競技選手権大会

- 大会 男子 1年 5000m競歩 3位 井上 友康
- 近畿高等学校コース陸上競技選手権大会 男子 1年 5000m競歩 3位 井上 友康
- 西播磨高等学校駅伝競走大会 男子 4位 2時間24分41秒 (40年連続県大会出場)
- 1区 久保 巧臣(3) 山崎東
- 2区 嶋田 悠佑(1) 新宮
- 3区 森田 大貴(3) 三土
- 4区 奥澤 裕也(3) 龍野東
- 5区 小林 幹太(1) 佐用
- 6区 井上 友康(1) 佐用
- 7区 谷口 樹(3) 上月
- 硬式野球部
 - 秋季西播大会 1回戦 姫路東 敗者復活戦 1対9
 - 2回戦 7対3 市姫路
 - 3回戦 4対1 赤穂
 - 3回戦 1対7 網干
- 卓球部
 - 兵庫県総合体育大会西播予選 男子 団体 ベスト8 県大会へ
 - 女子 団体 ベスト8 県大会へ
 - 兵庫県新人選手権大会西播予選 男子 団体 ベスト8 県大会へ
 - 女子 団体 ベスト8 県大会へ
 - ダブルス 森本 藤井ペア 県大会へ
 - 女子 学校対抗 団体 ベスト8 県大会へ
 - ダブルス 横山 勝山ペア 県大会へ
- 柔道部
 - 前期西播大会 男子 60kg級 石原 俊文 県大会へ
 - 66kg級 坂井 大良 県大会へ
 - 後期西播大会 男子 60kg級 石原 俊太 県大会へ
 - 66kg級 門野 克成 県大会へ
 - 81kg級 中野 真吾 県大会へ

- 100kg超級 第3位 矢野 大地 県大会へ
- 女子 団体 岡本 一沙 県大会へ
- 剣道部
 - 西播磨新人剣道大会 女子 団体 県大会へ
 - 男子 個人戦 ベスト16 山西 芽生菜 県大会へ
- バドミントン部
 - 県新人バドミントン選手権大会 男子ダブルス 2回戦 重田 盛崎 ペア
 - ソフトテニス部
 - 後期西播大会 男子 個人 県大会へ
 - 貝塚 修羅人 大塚 伊織
- 2 文化部 (主な活動)
 - JRC部
 - 兵庫県高等学校青少年赤十字協議会加盟式(日本赤十字兵庫支部)参加
 - サンホームみかづき納涼祭ボランティア
 - シャイン 納涼祭ボランティア参加
 - 朝陽丘丘荘 納涼祭ボランティア
 - いちよう園運動会 ボランティア
 - 播磨園祭ボランティア
 - 吹奏楽部
 - 佐用町さくら祭りでの演奏
 - 兵庫県吹奏楽コンクール西播地区大会 銀賞
 - 西播更正保護女性会研究会での演奏
 - 障害者支援施設 播磨園 播磨園祭での演奏
 - JAB兵庫西 佐用農業祭りでの演奏
 - 美術部
 - 平成25年度西播高校美術展 出品
 - 平成25年度県高等学校総合文化祭美術・工芸部門展 出品
 - 姫新線マナーアップキャンペーンポスター 2年 山崎 麻友
 - 兵庫県動物愛護週間ポスターコンクール 金賞 2年 山崎 麻友
 - 佐用マラソンロゴ作成 2年 山崎 麻友
 - 囲碁・将棋部
 - 第50回「新聞赤旗」囲碁将棋大会 個人 豊永 雄也 第2位
 - 第37回県総合文化祭将棋部門 個人戦参加
 - 琴部
 - さよう町さくら祭り
 - 塔陵祭 参加
 - 第21回観月の夕へ

- 清流の郷音楽祭
- 写真部
 - 西播春季写真コンテスト出品 3年 長谷川佳奈 入選
 - 3年 榎本 怜 入選
 - 2年 宮脇 輝 入選
 - 2年 北山 直樹 佳作
 - 兵庫県春季写真コンテスト出品 3年 榎本 怜 入選
 - 2年 北山 直樹 佳作
- 塔陵祭作品展示発表(最優秀賞) 西播秋季写真コンテスト出品 2年 北山 直樹 特選
- 2年 北山 直樹 特選
- 2年 宮脇 輝 入選
- 大阪ガスDOME姫路にて作品展示
- 第36回兵庫県高等学校総合文化祭写真部門出品 3点
- 茶道部
 - 塔陵祭 呈茶(優秀賞)
 - 姫路「好古園」にて茶席ボランティア
 - さよう文化祭 茶席ボランティア
 - 書道部
 - 塔陵祭 書道パフォーマンス
 - 四国大学主催 第42回全国高校書道展 出品
 - 第12回岐阜女子大学全国書道展 出品
 - 奨励賞 2年 森崎 かおり
 - 西播磨オータムフェスタ山光都2013 書道パフォーマンス
 - さよう文化祭 書道パフォーマンス
 - 第37回兵庫県高等学校総合文化祭 書道展近畿総合文化祭推薦賞
 - 2年 山崎 希望
 - 特選 2年 原田 梨恵
 - ESS
 - 塔陵祭「Charity Bake Sale」
 - 第31回西播磨高校生英語スピーチコンテスト 2年 藤本万里奈
 - 「A True Volunteer」発表 第30回兵庫県高等学校商業英語スピーチコンテスト 1年 隠岐 春来
 - 「Mirror Mirror on the wall」 1年 藤本 佑華
 - 「A Very Able Man」
 - 放送同好会
 - 塔陵祭 作品発表
 - 体育大会放送担当
 - 人権まちづくりフェスタさよう
 - 3 その他の活動
 - 塔陵祭:テーマ「STEP UP〜『今』をしっかりと踏みしめて。『今』という高校生活のすべてを大切に踏みしめ

- ながら一人ひとりが夢や目標に向かって次の段階へ進んでいくという思い。
- 交通安全マスコット配布
- あいさつ運動
- 校外義援金活動の実施
- 姫路駅にて8月17日(土)に実施し、約9万円の義援金を山口県・島根県の被災地へ送る。
- 佐用駅舎清掃活動
- 農業クラブ
 - 第61回全国学校農業クラブ連盟大会 首都圏大会
 - 業鑑定競技 農業の部出場 3年 山下 菜央
 - 12月 収穫感謝祭
 - 12月 感謝即売会
 - 学校家庭クラブ
 - 交通安全マスコット配布 11月 佐用町文化祭(ファッションショー・バザー)
 - 交通安全マスコット配布 11月 佐用町文化祭(ファッションショー・バザー)
 - 保育所訪問 兵庫県総合文化祭(ファッションショー・バザー)
 - リバーシティで学校紹介(ファッションショー)
 - 12月 味わいの里三日月祭
 - 12月 感謝即売会
 - 1月 神戸ファッションデザインコンテスト
 - 2月 施設訪問 家庭クラブ総会
 - ボランティア活動等
 - 東日本大震災復興支援ボランティア活動報告会
 - 東日本大震災復興支援ボランティア活動 7月12日(金)〜14日(日) 宮城県石巻市 仮設住宅に花の植栽 生徒 21名 職員 3名
 - 高校生防災ユニバーリダー 7月21日(日)〜23日(火) 国立淡路青少年交流の家 生徒 2名
 - 中国地方豪雨災害の募金活動 8月17日(土) 姫路駅前 生徒 職員 15名参加
 - 防災教育報告会 11月20日(水) 全校集会
 - 東日本大震災復興支援ボランティア活動
 - 読書感想文
 - 平成25年度 播磨西高校読書感想文コンクール 佳作 1年 小川 葵奈
 - 「生きる、生きる、生きる」 佳作 1年 原田 美奈子
 - 「Hands」を読んで

平成25年度 在籍生徒数

(11月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	計	学級数
普 通 科	1 5 7	1 5 5	1 5 2	4 6 4	1 2
農 業 科 学 科	3 9	3 4	3 5	1 0 8	3
家 政 科	3 6	3 7	2 8	1 0 1	3
合 計	2 3 2	2 2 6	2 1 5	6 7 3	1 8

進 路 状 況 平成24年度 (65回生) 進路状況

		合 計			農 業 科 学			家 政		普 通		
		男	女	計	男	女	計	女	計	男	女	計
卒	業 者 数	120	84	204	35	1	36	24	24	85	59	144
進 学	大 学 (通信制含む)	42	28	70	1	0	1	3	3	41	25	66
	短 期 大 学	1	12	13	0	0	0	2	2	1	10	11
	専 修 ・ 各 種 学 校	26	24	50	9	0	9	7	7	17	17	34
	そ の 他 ・ 未 定	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	70	64	134	10	0	10	12	12	60	52	112
就 職	民 間 企 業	40	17	57	21	1	22	10	10	19	6	25
	公 務 員	3	0	3	2	0	2	0	0	1	0	1
	縁 故	5	2	7	1	0	1	1	1	4	1	5
	家事手伝い・その他	2	1	3	1	0	1	1	1	1	0	1
	計	50	20	70	25	1	26	12	12	25	7	32

平成 24 年度 同 窓 会 会 計 決 算 書

収入総額 6,418,196円
 支出総額 2,507,391円
 差引残額 3,910,805円……次年度繰越

収 入 の 部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
繰 越 金	3,444,374	3,444,374	0	
会 費	2,383,200	2,376,900	△6,300	300円×7923人 (延べ人数)
入 会 金	239,000	239,000	0	1,000円×239人
繰 入 金	0	0	0	
雑 収 入	1,426	357,922	356,496	寄附金、預金利息
計	6,068,000	6,418,196	350,196	

支 出 の 部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	残 額	摘 要
会 議 費	70,000	36,982	33,018	講師謝礼 総会・役員会お茶代
部 活 動 後 援 会 費	200,000	200,000	0	部活動後援会費補助
負 担 金	600,000	600,000	0	佐用高校を育てる会、国際交流補助
通 信 費	50,000	10,780	39,220	切手、はがき代 資料発送代
広 報 費	1,700,000	1,364,963	335,037	会報「塔陵」印刷、発送代、寄稿お礼
支 部 活 動 費	140,000	138,000	2,000	各支部へ
体 育 奨 励 費	30,000	15,000	15,000	図書カード (5 名)
旅 費	50,000	0	50,000	
会 館 維 持 費	420,000	66,255	353,745	塔陵館備品
雑 費	50,000	5,376	44,624	慶弔費
予 備 費	2,758,000	70,035	2,687,965	東日本大震災復興支援ボランティア活動補助
計	6,068,000	2,507,391	3,560,609	

同窓会の動き

副会長 矢内 作夫

高校(普) 20回卒

平成25年

4月8日(月) 第68回生入学式
6月20日(木) 第1回本部役員会
7月17日(水) 第1回同窓会職員打合せ
7月27日(土) 平成25年度 同窓会総会
10月30日(水) 第1回同窓会報『塔陵』

11月22日(金) 佐用高校を育てる会
11月29日(金) 第2回同窓会報『塔陵』

12月15日(日) 同窓会報『塔陵』
第35号編集委員会

平成26年

2月28日(木) 第66回生卒業式

塔陵会(同窓会) 総会について

去る、七月二十七日(土)に塔陵館において、塔陵会(同窓会)総会が開催されました。議案については提案のとおり承認されました。

続いて、記念講演会があり、元新潮文庫編集部長 池田雅延氏(高十七回生)に「米づくり本づくり」と題して、貴重な講話をいただきました。

同窓会総会が会員にとって、より身近なものとなり、同窓会活動が一層盛り上がるようにと、同窓会会員全員を対象に同窓会総会を七月に行っています。

会員の皆様のご参加をお待ちしています。

平成二十五年度

新役員・新代議員

【同窓会本部役員】

会長 谷本 学

副会長 矢内 作夫

監事 花高 イヨ

福本 美昭

小林 君江

春名 満

分元 彰宏

塚崎 康宏

栗林 孝一朗

山口 唯子

井村 久富

稲田 勝

来女木 二

平田 幸

春名 隆行

上村 昌史

垣内 良友

敏森 勝也

井村 ユカリ

事務局

【新代議員】

第六十五回生

(平成二十五年三月卒業)

1組 山田 雅也

2組 桐谷 満智

3組 宮本 成美

4組 永井 佐香

5組 池田 昌生

6組 船岡 弘

7組 桑原 祥子

8組 大西 成就

9組 井西 修平

10組 井澤 加

【新正副支部長】

幕山支部

副支部長 尾崎 攝男

中安支部

支部長 衣笠 俊博

山崎支部

支部長 助光 和雄

副支部長 吉岡 利治

一宮支部

副支部長 植田 聡

美作支部

副支部長 小林 正樹

河野 雅晴

ひょうご環境体験館

三木 義則

松陽高校

居合 静雄

播磨農業高校

竹村 典昭

播磨特別支援学校

高橋 一郎

上郡高校

伊東 良之

県立大附属高校

吉永 江利

赤穂高校

谷口 春夫

上郡高校

長谷川 昇平

山崎高校

西千種高校

中野 沙也香

在家庭

在家庭

◎転入(旧所属)

奥平 賢一朗

加古川北高校

山口 壽子

西はりま特別支援学校

武内 紀憲

播磨農業高校

山本 真也

生野高校

中西 啓祐

東播磨高校

畑 信壮

新規採用

平地 悦子

新規採用

植田 由衣香

新規採用

柏木 黎佳

新規採用

柏原 のぞみ

新採用



【編集委員】

◎印は長・○は副

○ 小 林 君江 栗林 孝一

○ 矢内 作夫 山口 壽子

○ 花高 イヨ 稲田 久富

○ 福本 美昭 来女木 勝

○ 春名 満 春名 隆行

○ 塚崎 康則 上村 昌史

○ 分元 彰宏 垣内 良友

○ 敏森 勝也

編集後記

創立百周年に改築・新装された塔陵館(同窓会館)が校舎の北側に建っています。その一室の本棚に懐かしい卒業アルバムが並べられています。当時を想い出す、又クラス会開催時の資料としてぜひ多くの同窓生の方々にご利用いただければと思っています。

同窓会ニュース

同窓会のホームページを開設しました。内容は同窓会ニュース、同窓会だより(同窓会報「塔陵」)も掲載中です。是非ご覧になってください。

*ホームページアドレス

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~sayo-hs/dosokai/index1.html>